

■第8回 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）策定委員会 会議録■

日時 : 平成 21 年 1 月 15 日（木）18 時～20 時
場所 : 武蔵野市役所西棟 412 会議室
出席者 : 委員 本村清人、河上一雄、本郷伸一、赤萩恵子、和田明子、守屋るり子、後藤信義、
大町洋、島本康子、茨木信、萱場和裕
欠席委員 : 古矢武士
: 庁内ワーキングチーム 大久保宏、佐藤佳代、柴田直子
事務局 : 担当課職員 西川和延（生涯学習スポーツ課副参事）、茂木孝雄（生涯学習スポーツ課
スポーツ振興係長）
: コンサルタント 黒崎晋司・木藤直隆（株式会社 地域計画建築研究所）
傍聴人 : 2 人

－ 議事要旨 －

□開会

□資料確認

本日の次第、「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）中間報告 パブリックコメントで寄せられたご意見および見解（案）」「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」「資料 3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）基本施策に対応する事業案」「第7回策定委員会会議録」

□会長挨拶

委 員 長：本日で策定委員会も8回目をむかえた。本日とあと2月の2回で成案にもっていくということで、だいぶ大詰めになってきた。本日もご意見をいただきながら内容を詰めていきたい。ご協力のほどお願いしたい。

□議事

（1）中間報告パブリックコメントに寄せられたご意見及び見解について（資料1）

事 務 局：「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）中間報告 パブリックコメントで寄せられたご意見および見解（案）」について、第7回策定委員会でいただいたご意見を踏まえて修正した箇所を説明した。修正箇所については、文章に下線を引くとともに「以下（トリツメ）」「以下（追加）」「（文書改定）」「（語句の追加）」という形で表記した。
・本日の策定委員会での最終確認を経て、ご意見をいただいた市民の方々への回答をおこなうとともに、市のホームページで公表したいと考えている。

委 員 長：前回の第7回策定委員会からの修正箇所について説明いただいた。修正箇所についてご意見ありましたらお願いしたい。

7 ページにある芝生化に関するご意見の見解について、最後に「校庭については、学校施設としての考えや使い方、維持管理を考慮しなければなりませんので、学校からの相談に

応じていきます。」という文章を追加しているが、学校からの相談というのは、少しトーンが違うようにも感じるがどうか。

事務局：現在でも学校が主体で一部芝生化をおこなっているところもある。必ずしも芝生化自体を否定するものではないということから付け加えたものである。

委員：今の事務局から説明のあった内容をこの文章から読み取れるかどうか。

委員：学校からの要望に応じて検討するということではないか。

委員：教育委員会としても、議会で度々ご質問をいただいている。芝生化は、環境や緑化という視点から施設の緑化については積極的に進めていきたいと考えているが、校庭を全面芝生化するということは、教育活動や地域活動において支障があることも考えられることや、芝生化によってどうしても養生期間を設けることになるため、全面芝生化というところまでは踏み切ってはいないところである。一部は積極的に取り組んでいるところもある。

委員長：「学校からの相談に応じていきます。」という文章を「学校と十分協議してまいります。」といった形で文章を修正してはどうか。

全員：異議なし。

委員長：その他にご意見がなければ、「資料 1 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）中間報告 パブリックコメントで寄せられたご意見および見解（案）」については、これで最終の確認とし、先ほどの 7 ページの修正をお願いしたい。

(2) 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（たたき台）について（資料 2、資料 3）

事務局：「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」について、前回からの修正箇所、新たに章を加えた箇所や文章を追加した部分について、主に以下の内容を説明した。

- ・「はじめに」（委員長挨拶）、「Ⅰ スポーツ振興計画（仮称）の策定趣旨」「Ⅱ スポーツ振興計画とは」「Ⅲ スポーツ振興における現状と課題」「Ⅳ 武蔵野市におけるスポーツのあり方」「Ⅴ 施策の具体的な展開」「参考資料」など計画の目次構成について説明した。
- ・「Ⅲ スポーツ振興における現状と課題」について、平成 19 年度に実施した「武蔵野市スポーツ市民意識調査」の結果等に基づいて現状と課題を整理した。その際、「武蔵野市スポーツ市民意識調査」の結果であるグラフや表を用いて整理した。
- ・現状と課題については、「1 スポーツを楽しむ機会の充実」「2 年代に応じたスポーツのニーズ」「3 気軽にスポーツが続けられる機会」「4 スポーツをする場所や施設」「5 様々な形でスポーツにかかわる人」「6 スポーツが地域社会に果たす役割」「7 情報の充実」という 7 つの視点から整理した。
- ・「Ⅳ 武蔵野市におけるスポーツのあり方」については、「1 スポーツの定義」「2 武蔵野らしさ」「3 基本理念」という構成とした。「1 スポーツの定義」については、これまでの策定委員会等での議論を踏まえかなり広義にとらえた形とした。「2 武蔵野らしさ」は、本日の策定委員会でご意見をいただきたい。
- ・参考資料として、「1 市内の体育施設一覧」「2 策定委員会の開催経緯」「3 策定委員会名簿」「4 策定委員会設置要綱」「5 策定委員会ワーキングチーム設置要領」「6

平成 19 年度市民意識調査の概要」を追加したいと考えている。

- ・その他、内容にかかわる部分について文章を加筆修正した箇所を説明。

事務局：「資料 3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）基本施策に対応する事業案」について、新たに事業案として想定できるものや事業名などの修正があった箇所について説明した。

- ・基本方針「Ⅰ きっかけづくりの充実」にある基本施策「成人から中高年向けのプログラム等の充実」は、「中高年向けのプログラム等の充実」と修正し、「若者向けのプログラム等の拡充」と整合を図り整理した。
- ・基本方針「Ⅱ 継続するための取組」にある基本施策「一人からでも参加できるスポーツの促進」は、「一人でも参加できるスポーツの促進」に修正した。
- ・実現化方策「Ⅱ 連携づくり」にある基本施策「体育施設の整備充実」は、「適切な管理・運営」に修正した。
- ・その他、事業案についてさらに追加および文言の修正をおこなった。

委員長：ここまで事務局から説明のあった「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」と「資料 3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）基本施策に対応する事業案」についてご意見いただきたい。

委員：「はじめに」の挨拶は、委員長挨拶で良いのか。本来的には行政計画であるため委員長挨拶ではないのではないのか。

事務局：策定委員会の要綱上は、策定委員会で案をつくり、教育長に報告する形となっていることから委員長挨拶ということになると考えている。

委員：報告の段階として委員長挨拶ということは理解できたが、案がとれて計画となった場合、実際に冊子をつくる段階でも委員長挨拶になるのかどうか。

事務局：案がとれて計画になった場合は、教育長の挨拶になると思うので、もう一度整理して次回以降お示しさせていただきたい。

委員：「Ⅴ 施策の具体的な展開」の各基本施策にある事業概要欄がまだ空欄のところがあると思うが今後どのように対応していくのか。

事務局：空欄の箇所についても記載していきたいと考えている。

委員長：「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」の 55 ページの基本施策「適切な管理・運営」の名称は変えたほうが良いと思う。何の適切な管理・運営となるのか分かりにくい。体育施設と入ったほうが良いのではないのか。

副委員長：55 ページの基本施策が「体育施設の適切な管理・運営」となると本文では「スポーツ施設等」という記述がある。今回の計画で「スポーツ」の定義はしているが「体育」の定義はしていない。どちらかに統一したほうが良いと思う。

事務局：「スポーツ施設の適切な管理・運営」という基本施策に名称を変更させていただきたい。

副委員長：今回の「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」で大分整理されてきて全体像が見えてきたように思うが、各基本施策を見ると多くの事業案があり、それに伴った所管課がある。これだけ所管課があると、この計画ができて実際にスポーツ振

興に取り組んでいく際にどこが総合的に音頭をとっていいのか見えにくくなっていると思う。それぞれの所管課が個々に事業を進めるだけでなく横断的に連携していて、どこかが総合的な見地からスポーツ振興の全体を把握しながら取り組んでいくということが表現できないか。所管課が分かれているけれども、市としては全体として見ていることを何か表現して文章を入れたほうが良いと思う。

事務局：考え方としては、51 ページの基本施策「市役所プロジェクトチーム等の設置」や 52 ページの基本施策「市、振興事業団、体協、関係機関等の連携」に記述されていることだと思う。

副委員長：もう少し最初の部分で「それぞれに所管課が取り組む事業はあるけれども庁内で横断的に進めていきます。」といった文章があると良いと思う。

事務局：目指すべき方向はご発言の内容のとおりだと思っているところである。

委員長：確かにそのような文章はあったほうが良いと思う。これだけ内容が整理されてきたので、どこに文章が入るかは事務局で少し検討してほしい。

委員：副委員長のご発言に関連して、事業ごとにこれだけ関係各課があるが、計画に各事業を載せていくにあたってどこまで関係各課から了解をとっているのか。これから調整をすることになるのかどうかうかがいたい。

事務局：基本的には策定委員会ワーキングチームの関係各課にはその都度確認してもらい、一定の理解を得ているところである。

委員：関係各課から了解をすべてとっていくとなると時間がかかるのではないかと。策定委員会としては、関係各課と連携してスポーツ振興を図りたいという考え方にもとづいて、関係各課の事業を掲載しているということを伝え、調整に入ってはどうか。

先ほどの副委員長のご発言にもあったが、これだけ事業ごとに所管課があると、どこかがある程度主体となって取り組んでいくような形にしていけないと難しいのではないかと。それがこの計画の一つの大きなポイントになると思う。

例えば、スポーツ振興事業団で高齢者対象の事業、健康や福祉などの関係各課と関係機関で同様に高齢者対象でおこなっている身体を動かす事業もある。同じような内容のものはある程度整理していくことも考えているのか。

事務局：見直しは必要だと考えているが、それぞれが違う目的にもとづいて取り組んでいることであり結果的に高齢者のスポーツ振興に役立っているということだと思う。そういう視点も踏まえながら事業を見直していくことは考えられると思う。

副委員長：例えば、「文化財ウォーキング」は、ウォーキングをしたいわけではなく、「文化財」を訪れるためにたまたま歩いているということだと思う。今回の計画では、スポーツを広くとらえているので、スポーツ振興という大きな枠のなかで目的は違っていても歩くという過程において活かせるということを誤解の生まれないように記述したほうが良いと思う。スポーツ振興について、全体として総合調整を図っていくということをどこかで記述することが必要ではないか。

委員：感想として、「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」や「資料 3 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）施策の体系（案）基本施策に対応する事業案」を見て、ここまで事業を出していることについて、事務局が努力をされていることに

は感心している。

「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」の「Ⅲ スポーツ振興における現状と課題」に掲載されているグラフや表の文字のサイズが小さいので工夫してほしい。

また、17 ページの基本施策「スポーツのある風景づくり」の「ストリート系スポーツ」の注釈に出てくる「3 ON 3」はよく分からないので工夫してほしい。

事務局：最終的に計画書を印刷する段階までにはグラフや表はもう少し見やすく工夫していきたい。現在は、既存の「武蔵野市スポーツ市民意識調査」から抜粋しグラフや表を貼り付けている。

また、「3 ON 3」ではなく「ストリートバスケット」という言葉で注釈を入れさせていただきたい。

副委員長：言葉の使い方として、「資料 2 武蔵野市スポーツ振興計画（仮称）素案（タタキ台案）」の 4 ページの課題で「年代に応じて異なるニーズや置かれている状況を踏まえた、きめ細かな施策の展開が必要です。」とある。何かを強調しているのか。

事務局：「踏まえた」とし「、」はとりたい。

委員長：その他ご意見ありましたらお願いしたい。

今回は、タタキ台の第一次案であり、また次回にもご意見いただける機会はあると思うので、次の「武蔵野らしさ」の検討に進みたい。

(3) 「武蔵野らしさ」について

事務局：策定委員から「武蔵野らしさ」についてワークショップ形式で自由に発言をいただいた。発言の内容をキーワード化し、付箋紙に書きとめたうえで模造紙に分類整理した。

（別紙 第 8 回策定委員会「武蔵野らしさ」のキーワード まとめ 参照）

(4) その他

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。本日は、若干時間の制約がありましたので、ご意見等ありましたら事務局までご連絡いただければと思っております。

本日いただいた「武蔵野らしさ」のご意見も整理して次回お示ししていきたい。

次回までにさらに素案のつくり込みをおこない、ご意見いただければと思っている。

委員長：本日はこれで終了いたします。

次回、第 9 回策定委員会の日程 2 月 5 日（木）

・会議 18：00～20：00（会場 武蔵野総合体育館視聴覚室）

第 9 回以降の予定

・第 10 回：2 月 24 日（火）18：00～20：00 武蔵野総合体育館大会議室

以上